



自主 自律 自愛

小島中だより



第 8 号

令和 7 年 9 月 22 日発行

各種学力調査の結果について

今年度、4 月に各学年で実施した、全国・県・市学力調査の結果についてお知らせします。

3 年生

○上回る

≡ほぼ同等

▲下回る

	国語	数学	英語	理科
第3学年	○（全国）	○○（全国）	○（県）	≡▲（全国）

【国語】

○「読むこと」「書くこと」において、全国平均を上回っている。

「知識及び技能」 全国 ▲

「話すこと聞くこと」 全国 ▲

「書くこと」 全国 ○

「読むこと」 全国 ○

●小問で見ると、漢字を書く部分が全国より下回るところがあった。

☆「読むこと」はそのままに、「話すこと聞くこと」の学習もさらに仕組んでいく。

【数学】

○どの単元も県・全国ともに上回ることができた。

「数と式」 全国 ○

「図形」 全国 ○

「関数」 全国 ○

「データの活用」 全国 ○

●式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明することができていない。（全国 ▲）

●証明を振り返り、統合的・発展的に考察する記述の問題の正答率が低い。

☆記述の問題に対応できるよう、練習の時間を多く確保するよう努める。

【英語】

○「聞くこと」において県や市より上回っている。

○「書くこと」も県や市より上回っている。

●「読むこと」も県や市より上回っているが、他の領域より低いので、帯学習等も利用して読解力をつけていく。

●Ⅱの6の正答率が平均を下回っていた。簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。

【理科】

○記述式問題は全国的に正答率が低い。記述式については正答率が全国平均や県平均を上回っていた。

●課題の設定や分析、予想など、もっている知識や情報を活用して分析することや新たな課題を見つける力などが全国や県に比べて大きく落ち込んでいる。

☆既習の知識や日常生活の経験などから、科学的根拠をもって結果を予想することや、結果から考察すること、新たな疑問をもったり課題を設定したりするなどの習慣を定着させるような授業の展開をしていく必要があると感じた。「書く」ことを目的とせず、語句を正しく使うことや、相手に伝わるように表現することを目的として自らの考えを記述することを意識させる必要がある。

2年生

○上回る

≒ほぼ同等

▲下回る

	国語	数学	英語
第2学年	▲（県）	▲（県）	9/24 実施（市）

【国語】

- すべての領域において、県、市の結果を下回っている。

「書くこと」 県 ▲

※表現の効果について、根拠を説明する問い

県 ▲

最後の問題で、根拠の説明とともに、時間配分ができずに解けなかった生徒も多かったものと予想される。

☆視写トレーニングを国語科でも行う。また、授業の中で、さらに「書く」練習を取り入れていく。

【数学】

- すべての領域で県を下回っている。特に、以下の3領域については、大きく下回った。

「数と式大問2」 県 ▲

「図形大問7」 県 ▲

「関数大問4」 県 ▲

○関数大問8については、県とほぼ同程度。

○数と式大問6(1)については、上回った。

☆まずは、基礎・基本の定着が必要。

1年生

○上回る

≒ほぼ同等

▲下回る

	国語	数学	英語
第1学年	○（県）	○（県）	

【国語】

○どの領域においても、市の平均を上回っている。

「言葉」に関すること 市 ○

「話すこと・聞くこと」 市 ○

「書くこと」 市 ○

「読むこと」 市 ○

☆「読むこと」はもちろんのこと、「書くこと」を多く取り入れた授業を仕組む。

☆朝学習の視写トレーニングを続ける。

【数学】

○全体的にどの設問も全国より上回っている。

- 条件に合ったグラフを選んだり、グラフから適切な値を読み取ったりする問題の正答率が低い。

- ヒストグラム等の特徴をもとに、理由を説明する問題の正答率が低い。

全国 ▲（市 ▲）

☆図やグラフから情報を読み取る問題を、積極的に扱っていきたい。

お知らせ

小島中学校区青少年育成協議会「あいさつ運動」標語に3名が優秀賞に選ばれました。

